

別記様式3

令和〇年度学校給食用牛乳供給推進実施計画

1 事業の目的

--

2 事業の内容及び計画

別紙1「令和〇年度学校給食用牛乳供給推進実施計画」のとおり。

3 総括表

事業・内容	補助事業に 要する経費	負担区分		備考
		国庫補助金	事業実施主体	
(1) 学校給食用牛乳供給円滑化推進事業 (2) 学校給食用牛乳安定需要確保対策事業 (3) 学校給食用牛乳新規利用推進事業	千円	千円	千円	
合計				

注1) 備考欄には、消費税仕入控除税額を減額した場合には「減額した金額〇〇円」を、同税額がない場合には「該当なし」を、同税額が明らかでない場合には「含税額」をそれぞれ記入すること。

2) 事業を委託して実施する場合は、備考欄に委託する理由、委託予定先、委託する業務の内容を記入するとともに、該当する事業費の上段にその委託費の額を()書きで記入すること。

3) 事業推進に要する経費についても、できるだけ詳細に記入すること。

4 事業完了予定年月日 令和〇年〇月〇日

別紙1 「令和〇年度学校給食用牛乳供給推進事業実施計画」

1-1 学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち学校給食用牛乳供給推進会議の実施

会議等の 名称	時期	場所	内容	回数	構成員 (参加人数)	補助金額	備考
				回	人	円	
合 計							

1-2 学校給食用牛乳供給円滑化推進事業のうち配送効率化に向けた実証の取組の実施

取組内容	補助金額	備考
	円	
合 計		

注) 備考欄には、積算基礎を記入すること。

2 学校給食用牛乳安定需要確保対策事業

供給業者名	区域名	供給対象 学校数	供給対象 人数	補助単価	供給計画本数	補助金額	備考
		校	人	円/本	本	円	
合 計							

注1) 「区域」は、学校給食用牛乳供給対策要領（平成15年9月30日付け15生畜第2865号農林水産省生産局長通知）第2の1の区域をいう。

また、同一区域内にて、供給条件により複数の供給価格を定めている場合は、価格ごとに記入すること。

2) 供給計画本数は200cc換算で記入すること。なお、その場合、備考に換算前の供給計画本数を記載すること。

3) 「供給対象人数」欄については、計画時には当該学校における当該年度当初の供給対象人数を記入し、実績時には9月時点の供給対象人数を記入すること。

4) 区域ごとの補助金額は、小数点以下の端数を切り捨てること。

5) 調理用を含めること。

3 学校給食用牛乳新規利用推進事業

供給業者名	供給対象学校数	供給対象人数	供給計画本数	補助金額	備考
	校	人	本	円	
合計					

注1) 供給事業者ごとに記入することとし、供給計画本数については、学校ごとに200cc換算して算出した供給計画本数の合計とする。なお、その場合、備考に換算前の供給計画本数を記載すること。

2) 「供給対象人数」欄については、計画時には当該学校における当該年度当初の供給対象人数を記入し、実績時には9月時点の供給対象人数を記入すること。

3) 調理用を含めないこと。